

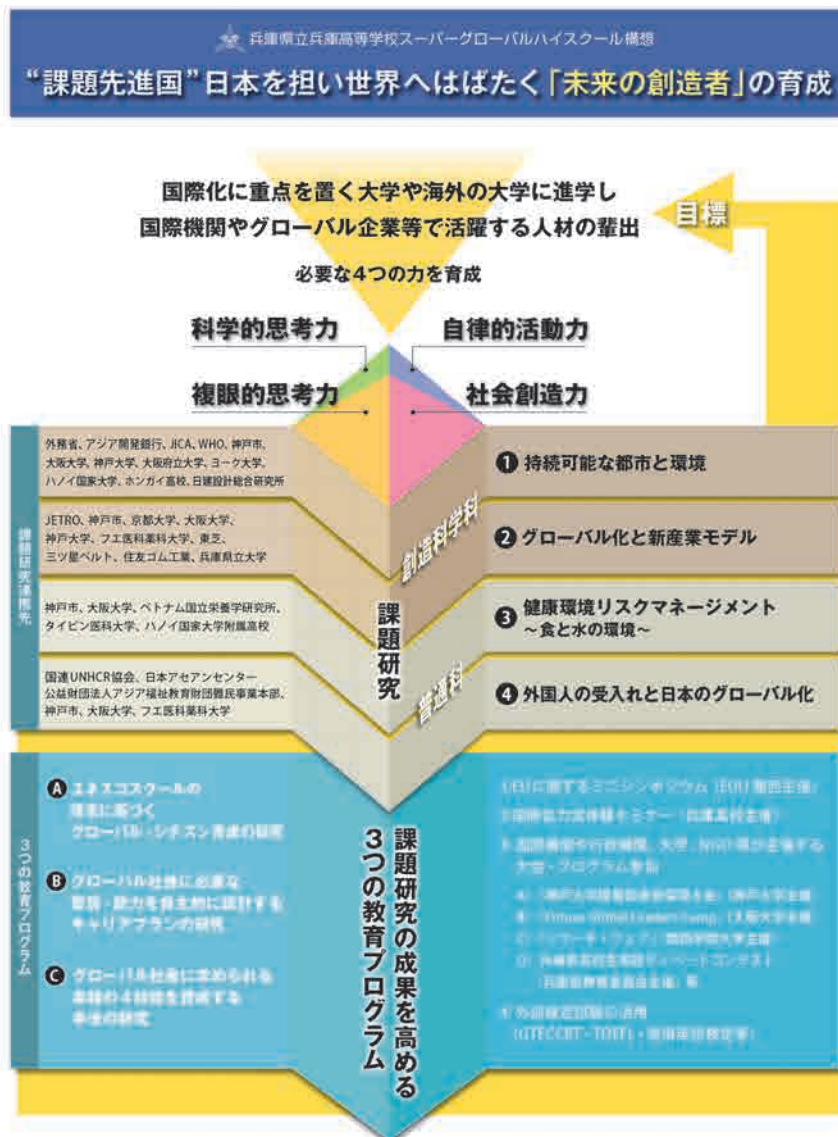
兵庫県立兵庫高等学校

“課題先進国”日本を担い世界へはばたく 「未来の創造者」の育成

【構想の概要】

国際機関、行政機関、国内外の大学、企業等と連携し、“課題先進国”日本のこれまでの取組を包括的に学び、その経験を基盤に国内・海外研修を通して「持続可能な都市と環境」、「グローバル化と新産業モデル」、「健康環境リスクマネジメント～食と水の環境～」、「外国人の受け入れと日本のグローバル化」の4つの文理融合型の課題研究に取り組んだ。これらのテーマのもと、グローバル社会が抱える様々な課題の解決に向けて、フィールドワークや実験を踏まえた政策提言や実践的活動を行い、その成果を論文やポスターにまとめ、各種発表会で発表し、論文集を作成した。また、研究成果をもとに海外の大学教授や高校生等と意見交換や共同研究を行った。これらの活動を通し、科学的思考力、自律的活動力、複眼的思考力、社会創造力を兼ね備えた「未来の創造者」を育成するための国際的、実践的な教育システムの研究開発を進めた。同時に、英語の総合的な運用能力の育成に努めた。

全校生徒 960 名の内、各学年創造科学科 40 名、普通科 40 名の合計 240 名を SGH 事業対象者としている。



平成29年度入学生(創造科学科) 選は特定の科目を選択 ※は特定の期間で実施

学年	科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1 学年	創造基礎																																					
	現代文Ⅰ																																					
2 学年	現代文Ⅱ																																					
	現代文Ⅲ																																					
3 学年	現代文Ⅳ																																					
	現代文Ⅴ																																					

備考 ※1 について、前期(9月)までの高進基礎(10)1時間・数1(14)1時間・後期(10月)の課題研究(14)1時間・第1回で実施します。授業時刻は28:30 6限の日は14:55終了、7限の日は15:55終了。次年度以降の教育課程は実施予定であり、今後変更される可能性があります。

平成29年度入学生(普通科) 選は特定の科目を選択 ※は特定の期間で実施

学年	科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1 学年	創造基礎																																					
	現代文Ⅰ																																					
2 学年	現代文Ⅱ																																					
	現代文Ⅲ																																					
3 学年	現代文Ⅳ																																					
	現代文Ⅴ																																					

備考 ※1 について、前期(9月)までの高進基礎(10)1時間・数1(14)1時間・後期(10月)の課題研究(14)1時間・第1回で実施します。授業時刻は28:30 6限の日は14:55終了、7限の日は15:55終了。次年度以降の教育課程は実施予定であり、今後変更される可能性があります。

本校では学校設定教科「創造」を活用して、SGH 事業を展開している。

SGH 対象者は創造科学科生各学年 40 名(推薦入試で選抜)、普通科生各学年 40 名(入学後に選抜)の 3 学年合計 240 名である。

創造科学科では 1 年生時に学校設定科目「創造基礎」(2 単位)「RRE」(1 単位) 2 年生時に「創造応用Ⅰ」(文系・理系それぞれ 3 単位) 3 年生時に「創造応用Ⅱ」(文系 2 単位・理系 1 単位)において、探究的な学習および課題研究を実施している。

普通科では「グローバルリサーチⅠ～Ⅲ」(各 1 単位)において同様の取り組みを行っている。

すべての学校設定科目は複数の教科の教員が担当し、教科横断的な内容を意識して実施している。

毎年、約 25 名の教員が教科「創造」を担当しており、「地歴・公民科」「英語科」は全員、「理科」「数学」の 8 割の教員が教科「創造」の探究的な学習および課題研究の指導に取り組んだ。また、必要に応じて「国語科」「保健体育科」「情報科」の教員もサポートを行っている。その結果、普通教科においても「現代社会」「生物基礎」をはじめとする科目で探究的な学習を取り入れ、主体的対話的で深い学びを実践している。

課題研究の実施の工夫

「創造基礎」では国際機関、行政機関、NPO 等と連携している。H29 年度に神戸市長田区と教育とまちづくり分野における連携協定を結び、本校生徒に対するサポート体制が整った。「創造応用」では兵庫県と大学との教育連携協定を活用し、大学教員、大学院生のサポートを受けながら実施している。特に本校は大阪大学大学院国際公共政策研究科と H25 年度に教育連携協定を結んだ。

校内における成果の共有であるが、4 月に「未来創造シンポジウム」を開催し、前年度の成果の発表会を実施している。加えて毎月「SGH 通信」を発行し、全職員に配布している。

課題研究の評価については新たに本校独自のパフォーマンス評価表を作成し、生徒のスキルアップが明確にわかるように工夫した。

成果と課題

教科「創造」を受講している全生徒が研究ポスター、論文を作成した。校内だけでなく大学等で発表の機会を設け、毎年複数の生徒が表彰を受けている。

東京大学・京都大学をはじめとするスーパーグローバル大学の推薦・特色入試で課題研究の成果を活かすことができた。

H29 年度には内閣官房主催「第 1 回薬剤耐性(AMR) 対策普及活動表彰」の教育・研究分野で文部科学大臣賞を本校が受賞した。

このように本校の課題研究の取組が外部において高く評価され、進路実現にもつながっている。

生徒が身についたスキルや意識の変容についての評価は、上記のパフォーマンス評価とアンケートで測っている。

H29 年度卒業生アンケートで SGH 対象者の 75.3%が大学在学中に留学を考え、64.8%が将来、仕事で国際的に活躍したいと考えている。

今後の課題は、推薦入試の対応としての職員の指導体制の確立と英語の 4 技能の向上である。

他校への成果普及

校外外において広く普及活動を行っている。主なものとして以下の 2 つのものがある。

- ・「高校生国際問題を考える日」

兵庫県教育委員会および本校の連携先である大阪大学、WHO 神戸センターとの共催で本校が幹事校として実施。平成 29 年度は県内外の学校 30 校、約 400 名が参加。

- ・「大阪大学探究学習セミナー」

本校教員が講師を務め、毎年約 50 名の高校教員に成果を普及。